

不退転

第 91 号
東江中学校
校長 神元 勉

義務教育課 学校支援訪問

8日(木)に県教育庁義務教育課から4名、県立総合教育センターから4名、国頭教育事務所から2名、市教育委員会から1名、計11名の先生方の学校支援訪問がありました。「授業観察及び校長との意見交換を通して、各学校における授業改善を支援し、学力の向上に資する」ことが、訪問の趣旨です。

3校時に授業観察を行い、4校時は3グループに分かれて、授業者との懇談、生徒指導主任・生徒会担当との懇談、校長との懇談を行いました。それぞれの懇談で、貴



琉球新報2016年12月5日

科学の甲子園ジュニア大会

名護中全国10位 実技は最高

全国の中学生が都道府県のチーム対抗で科学に関する知識や実技を競う「科学の甲子園ジュニア全国大会」が4日、東京都

内で開催された。群馬県チームが優勝し、文部科学大臣賞を受けた。2位は大分県、3位は富山県、計281人が筆記と実技の試験に挑んだ。実技では実験装置を使って食品に含まれる色素の分析に取り組んだ。筆記と実技1、実技2の3種の合計で総合順位を決めた。沖縄県チームは実技2で最高得点を記録し、パナソニック賞を受賞した。



本校は、名護中学校の大規模緩和と瀬喜田小中学校の併置校解消のため、昭和52年4月に開校しました。その後、名護中学校から分離した大宮中学校と合わせて3校には、兄弟校としての『絆』の石碑があります。その兄貴分の名護中学校が、科学の甲子園ジュニア大会で快挙を成し遂げました。

琉球新報 2016年12月8日



初冬を演出する「ムラサキタカオスキ」名護市

いよいよ冬本番 名護

【名護】沖縄の初冬から冬ムラサキタカオスキが、ス本番に向けて山野を演出するスキの後を追うように穂を付け始めた。

ムラサキタカオスキ出穂

名護岳の山道周辺には群生しているのが見られ、いかにも初冬を感じさせる。ススキが男性的ならどこか遠慮がちで女性的。葉は線形で高さ1.5倍余り。東生して株立ち状になる。莖も細く、穂も優しい紅紫色。逆光でキラキラ光り美しい。台湾原産で、海洋博の工事の後から見られるようになったといわれる。県内各地に広がっており、生態系への影響も心配されている。イネ科。(幸地光男通信員)

東江中の誇りにしたいこと

「東江中学校の誇りにしたい4つのこと」を考え

重なる指導助言を賜り、感謝申し上げます。最近、学校訪問が相次いでいますが、先生方、生徒の皆さん、お疲れ様でした!!

- ①「チーム東江」四原則(①みんなでやる。②少しずつ、ゆっくりでいい。③困ったら、すぐに相談する。④相談されたら、必ず助ける。)
- ②「立腰と黙想」(心と体を整える)
- ③「聴く態度」(目と心で聴く)
- ④「学び合い」(きき合い、つなぎ合い、支え合い)